

# 感染拡大防止対策に

抗菌・抗ウイルス製剤

# ウィルシュータ

店舗等で

医療福祉分野でも

除菌・消臭スプレー



ウィルシュータ 500ml 2本  
公式価格5060円 (税別)  
BMP会員3542円 (税別) 送料別

ウィルシュータ 詰め替え用  
20Lテナーボックス



ウィルシュータ 詰め替え用20Lテナーボックス  
公式価格69,800円 (税別)  
BMP会員48,916円 (税別) 送料別

## ■ 4つの特徴 今までにない新しい抗菌剤

### ①強力な抗菌力

病原性の高い菌やウイルス、耐性菌、芽胞菌に対して広範囲に抗菌力を発揮します。

### ③効果が長期間持続

拭きとらなければ、効果は数日～数カ月、持続します。

### ②スピーディな消臭力

アンモニア臭・生ごみのニオイ、加齢臭などのニオイをすばやく消臭します。

### ④人体にやさしい

アルコールや毒性のある成分を使用していないので、肌荒れやアレルギーの心配がありません。

## 店舗での活用

	営業時	営業時間外
超微粒子噴霧器	低出力モードでウィルシュータを噴霧し、部屋中を除菌・抗菌します	高出力モードで部屋中を除菌・抗菌します
除菌スプレー ウェットタオル	営業前に超微粒子噴霧器で噴霧していれば、不要ですがスプレーやウェットタオルを使用することでコマメに除菌・抗菌作業をしていることをアピールできます	

コスト：20坪の場合 高出力モード60分 1日500円程度が目安

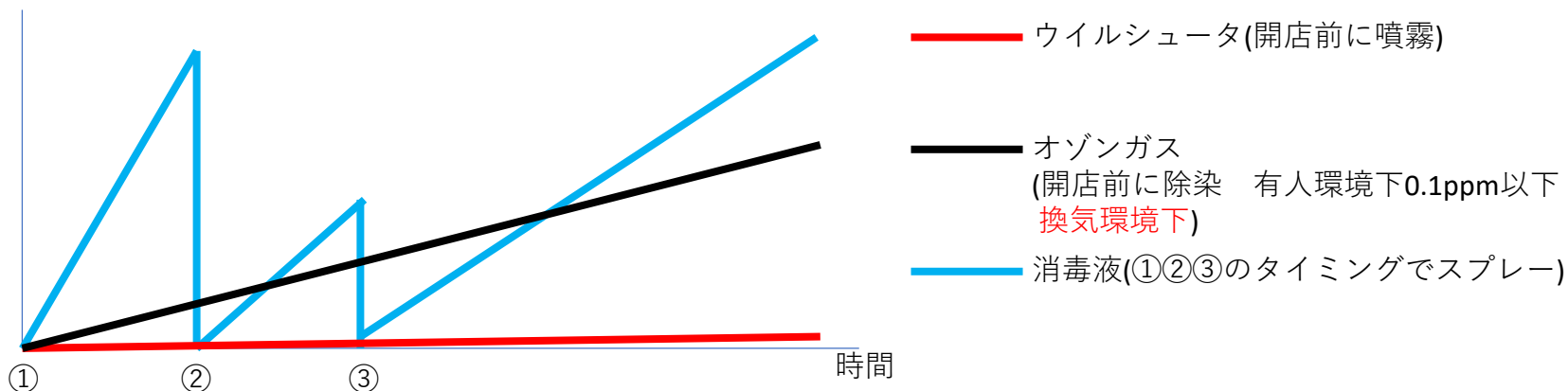
○光沢面や濃色部分には有効成分が白く浮き出る場合があります

## ■他の抗菌・除菌法との比較

	ウィルシュータ	オゾンガス	消毒液
除菌・抗菌作用	◎ 数日～数カ月持続 ウイルス、耐性菌、芽胞菌と 幅広く効果を発揮	○ 換気すると効果低下	△ 持続性が低い
消臭作用	◎ 除菌スプレーで瞬時に消臭	○ 有人モードでは限界がある	△ 持続性が低い
人体への影響	◎ 各種エビデンス（第三者機関 により安全性を確認）	○ 有人モードでは濃度制限が必要	× 肌荒れ等
費用	◎ 他の方法より安価に感染予防 が可能	△ 除染を行う場合は装置が高額	× 持続性を保つためには人件費が 高額
作業労力	◎ 噴霧により労力を大幅削減	△ 有人モードで換気をする場合は 除菌作業が必要	× 持続性がないため隔々まで除菌 するには多大な労力が必要

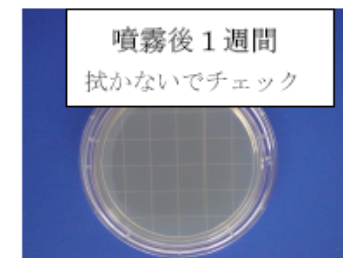
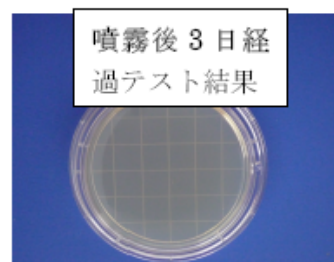
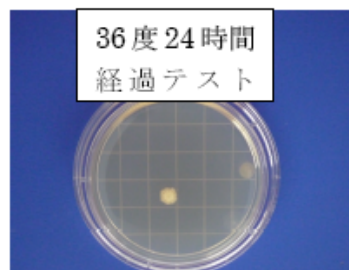
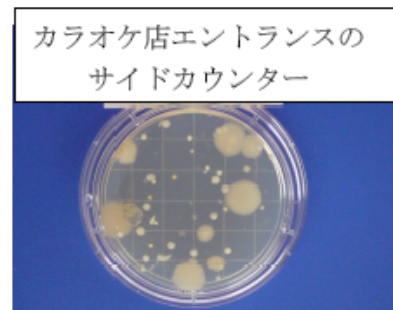
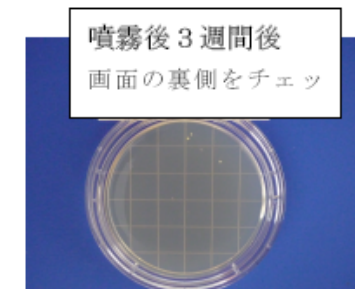
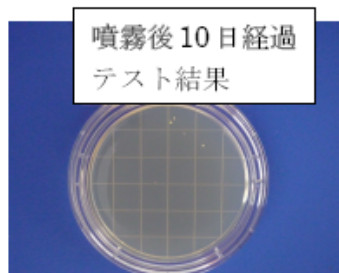
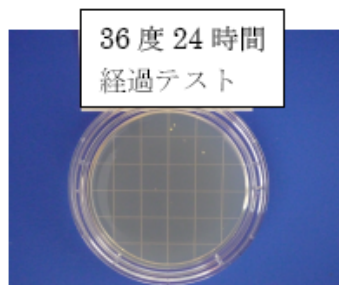
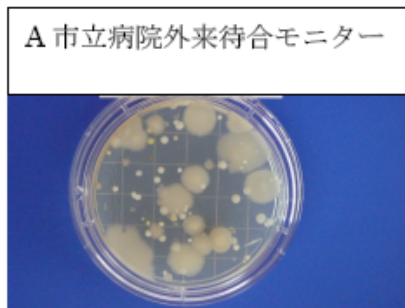
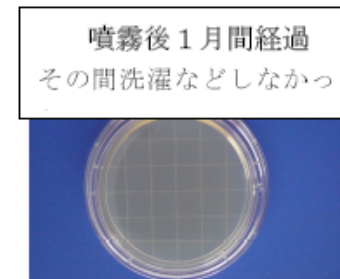
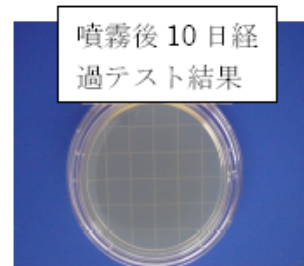
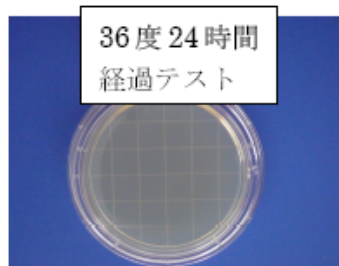
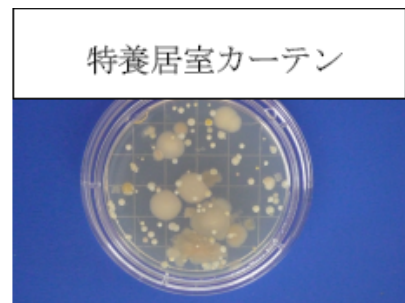
### 有人環境下での菌・ウイルスの抗菌イメージ

菌・ウイルス量



# ■超微粒子噴霧器によるウィルシュータの噴霧テスト

特養、病院の掲示板のモニターやカラオケ店のカウンターに寒天培地を接触・培養させて生菌の有無を検査しました。その後、同じ空間に超微粒子噴霧器でウィルシュータを噴霧した後、乾燥後に新たな寒天培地で接触採菌し培養しました。その結果、生菌はほとんど採取されませんでした。さらに一定期間を置いて新たな寒天培地でテストをしてもほぼ生菌は見つかりませんでした。ウィルシュータは噴霧後に拭き取らなければ長期間、効果が持続することが確認されました。



## ■抗ウイルス試験一覧

対象ウイルス	試験種類	感染価低下率	試験実施機関
ネコカリシウイルス	抗ウイルス効果(3分)	<94.079%	(財)北里環境科学センター
A型インフルエンザ(H1N1)	抗ウイルス効果(15分)	<99.99839%	(財)北里環境科学センター
鳥インフルエンザ(H5N3)	抗ウイルス効果	<99.9997%	鳥取大学農学部付属鳥由来 人獣共通感染症疫学研究センター
鳥インフルエンザ(H5N1亜型)	抗ウイルス効果(10分)	<99.99999%	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所
	抗ウイルス効果(10分) (有機物10%存在下)	<99.99999%	
	抗ウイルス効果 (1カ月乾燥後)	<99.99999%	
鳥インフルエンザ(H7N7)	抗ウイルス効果	<99.99%	京都産業大学先端科学技術研究所 鳥インフルエンザ研究センター

## ■抗菌試験一覧（試験実施機関：(財)北里環境科学センター）

対象菌	試験種類 (陰性確認)	対象菌	試験種類 (陰性確認)
黄色ブドウ球菌	MBC測定	MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)	MBC測定
大腸菌	MBC測定	MDRP (多剤耐性緑膿菌)	MBC測定
カンピロバクター	MBC測定	MDRA (多剤耐性アシネドバクター)	MBC測定
緑膿菌	MBC測定	VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)	MIC測定
クロストリジウム ウェルシュ菌	MBC測定	クロストリジウムディフィシル菌 (芽胞)	MIC測定
肺炎桿菌	MBC測定	セレウス菌(芽胞)	MIC測定
メタロβラクタマーゼ産生菌	MBC測定		

MBC=最小殺菌濃度 MIC=最小発育阻止濃度

## ■消臭効果

成分	イメージ	初期ガス濃度	10分後	30分後
アンモニア	尿臭・疲労臭(ストレス、筋肉疲労、肝機能・腎機能等の低下、貧血などで汗の中に発生)	100ppm	<1ppm	-
トリルメチルアミン	刺激性の魚臭、生ゴミの他、肝機能の障害や低下による体臭	20ppm	<1ppm	-
イソ吉草酸	足の臭い・加齢臭、歯周病の原因菌が出す臭い	25ppm	1.5ppm	<1ppm
酢酸	酢の臭い、発酵臭	10ppm	2ppm	<1ppm

<1ppm：定量下限未満

## ■安全性試験

試験名	試験結果	総評	試験機関
急性経口毒性試験	5,000mg/kg以上	飲用不可ですが、口に入っても安全です。	(財)日本食品分析センター
皮膚感作性試験	皮膚感作性を有しない	遅延型アレルギーの危険性はありません。	(財)日本食品分析センター
眼刺激性試験	「無刺激物」の範疇にある	粘膜にも安全です。	(財)日本食品分析センター
変異原性試験	突然変異誘起性は陰性	発がん性はありません。	(財)日本食品分析センター
皮膚貼付試験	準陰性	敏感肌の方も安心して使えます。	日本産業皮膚衛生協会